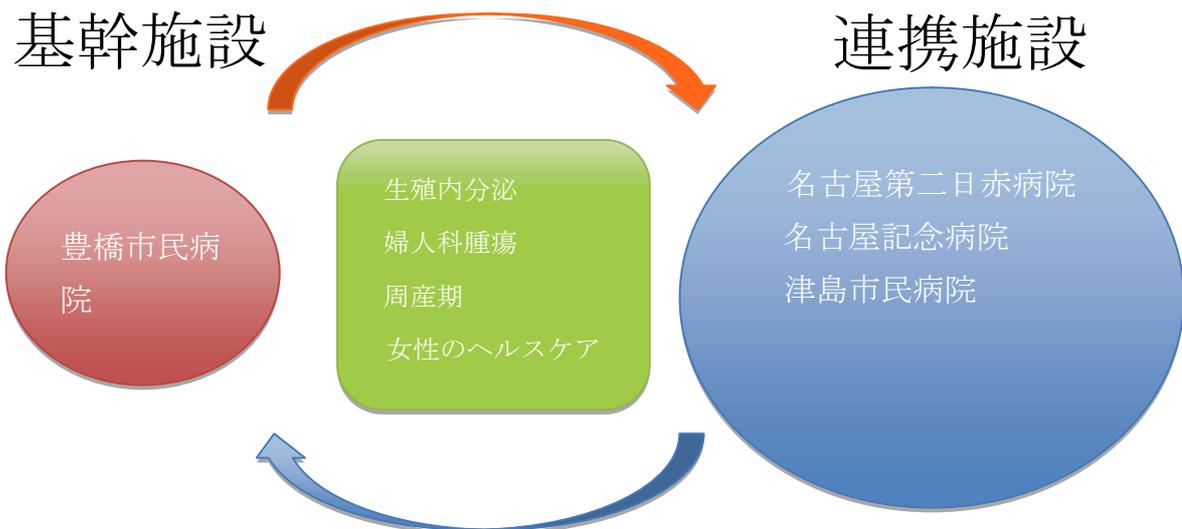


## 資料 3. 豊橋市民病院産婦人科研修プログラム

### A. 豊橋市民病院産婦人科研修プログラムの概要

# 豊橋市民病院専門研修施設群

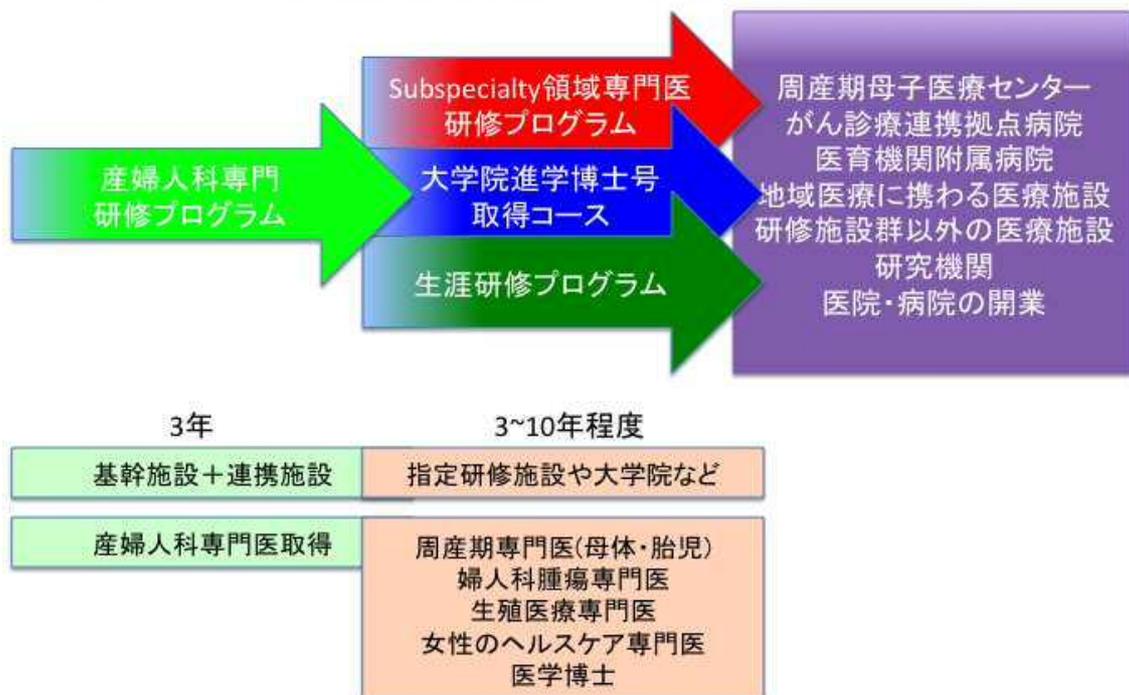


豊橋市民病院産婦人科研修プログラムでは豊橋市民病院産婦人科を基幹施設とし、連携施設とともに研修施設群を形成して専攻医の指導にあたる。これは地域医療を経験しその特性の習熟を目的とし、高度かつ安定した地域医療の提供に何が必要かを勘案する能力がある専門医の育成に寄与するものである。また、大病院では経験する事が少ない性病、性器脱、避妊指導、モーニングアフターピルの処方と服薬指導などの習熟にも必要である。指導医の一部も施設を移り施設群全体での医療レベルの向上と均一化を図ることで専攻医に対する高度に均一化された専攻医研修システムの提供を可能とする。連携施設には得意とする産婦人科診療内容があり、基幹施設を中心として連携施設をローテートする事で生殖医療、婦人科腫瘍（類腫瘍を含む）、周産期、女性のヘルスケアの4領域を万遍なく研修する事が可能となる。

産婦人科専攻医の研修の順序、期間等については、個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各施設の状況、地域の医療体制を勘案して、豊橋市民病院産婦人科専門研修プログラム管理委員会が決定する。

## B. 豊橋市民病院専門研修プログラムの具体例

### 専門医制度研修プログラムとその後のSubspecialty研修などと将来像の概要



産婦人科研修プログラムを受ける専攻医は3年間で修了要件を満たし、ほとんどは専門医たる技能を修得したと認定されると見込まれる。修了要件を満たしても技能の修得が足りない場合、病気や出産・育児、留学などのため3年間で研修を修了できなかった場合は1年単位で研修期間を延長し、最終的に専門医を名乗るに足る産婦人科医として、修了年の翌年度（通常後期研修の4年目）に産婦人科専門医試験を受検する。専門医を取得して産婦人科研修プログラムの修了と認定する。産婦人科4年目は産婦人科専門医取得とその後のサブスペシャリティ研修開始の時期と言える。

研修は基幹施設である豊橋市民病院産婦人科ならびに愛知県内の連携施設にて行いローテートを基本とする。豊橋市民病院においては、生殖医療、婦人科悪性腫瘍および合併症妊娠や胎児異常、産科救急などを中心に研修する。豊橋市民病院での研修の長所は、一般病院では経験しにくいこれらの疾患を大学病院とほぼ同等の多数例の経験ができることである。3年間の研修期間のうち2年間（24ヶ月）は基幹施設で最重症度の患者への最新の標準治療を体験する。

一方、豊橋市民病院以外の連携病院においても、一般婦人科疾患、婦人科悪性腫瘍、良性腫瘍、正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理を中心に研修する。外来診療およ

び入院診療は治療方針の立案、実際の治療、退院まで、指導医の助言を得ながら自ら主体的に行う研修となる。

#### C. Subspecialty 専門医の取得に向けたプログラムの構築

豊橋市民病院産婦人科研修プログラムは専門医取得後に専門医・認定医取得へつながるようなものとする。**以下のすべての Subspecialty 専門医が豊橋市民病院では取得可能である。**

- ・日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医
- ・日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- ・日本生殖医学会 生殖医療専門医
- ・日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
- ・日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医

専門医取得後には、「Subspecialty 産婦人科医養成プログラム」として、産婦人科 4 領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修や、リサーチマインドの醸成および医学博士号取得を目指す研究活動も提示する。

#### D. 初期研修プログラム

豊橋市民病院産婦人科研修プログラム管理委員会は、卒後臨床研修センターと協力し、大学卒業後 2 年以内の初期研修医の希望に応じて、将来産婦人科を目指すための初期研修プログラム作成にもかかわる。

# 豊橋市民病院産婦人科研修プログラム例

1) 基幹施設→連携施設→地域施設 研修コース

## 産科人科専門医療人育成研修プログラムの概要



## 予定経験症例数

研修終了要件	豊橋市民病院	名古屋第二日赤	名古屋記念病院	津島市民病院	経験予定数(必要件数)
経膈分娩	100	50	30	30	210(100)
帝王切開執刀	60	30	10	10	110(30)
帝王切開助手	20	10	5	5	40(20)
前置胎盤・常位胎盤					
早期剥離帝切執刀助手	10	3	1	1	15(5)
子宮内容除去術執刀	10	6	2	2	20(10)
腔式手術執刀	10	6	2	2	20(10)
子宮付属器摘出執刀	20	6	2	2	30(10)
単純子宮全摘術執刀	10	6	2	2	20(10)
浸潤癌手術執刀助手	7	3	1	1	12(5)
腹腔鏡下手術執刀助手	50	4	3	3	60(15)
不妊症原因の治療	14	2	2	2	20(5)
採卵胚移植術者助手	5	0	0	0	5(5)
思春期更年期診療	10	6	2	2	20(5)
OC・LEP 初回投与説明	10	6	2	2	20(5)

4) 豊橋市民病院産婦人科初期研修プログラム

1. 豊橋市民病院のすべての研修医は名古屋大学医学部産科婦人科学教室が主催する学会、研究会、産婦人科研修セミナー等に参加できる。
2. 産婦人科ベーシックプログラム：全ての初期研修医のためのプログラム。初期臨床研修期間中、最長1ヶ月間の産婦人科研修が可能。全ての医師が身につけるべき産婦人科のプライマリケア技能の研修が可能。
3. 産科特別プログラム：産婦人科医師を目指す初期研修医のためのプログラム。初期臨床研修期間中、最長6ヶ月間を産婦人科研修に充てる事が可能。産婦人科では豊橋市民病院内において周産期、婦人科腫瘍の疾患の管理（手術の執刀を含む）を隈無く経験し、スムーズに3年目以降の産婦人科専攻医の研修に移行する。

必修	必修	選択	選択
----	----	----	----

1年目

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
研修	内科				麻酔科			小児科	救急	外科（整形胸外脳外）		

2年目

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	内科系		外科系		精神科			産婦人科			地域医療	産婦人科

予定経験症例数

研修終了要件	豊橋市民病院	名古屋第二日赤	名古屋記念病院	津島市民病院	経験予定数(必要件数)
経膈分娩	100	50	30	30	210(100)
帝王切開執刀	60	30	10	10	110(30)
帝王切開助手	20	10	5	5	40(20)
前置胎盤・常位胎盤					
早期剥離帝切執刀助手	10	3	1	1	15(5)
子宮内容除去術執刀	10	6	2	2	20(10)
腔式手術執刀	10	6	2	2	20(10)
子宮付属器摘出執刀	20	6	2	2	30(10)
単純子宮全摘術執刀	10	6	2	2	20(10)
浸潤癌手術執刀助手	7	3	1	1	12(5)
腹腔鏡下手術執刀助手	50	4	3	3	60(15)
不妊症原因の治療	14	2	2	2	20(5)
採卵胚移植術者助手	5	0	0	0	5(5)
思春期更年期診療	10	6	2	2	20(5)
OC・LEP 初回投与説明	10	6	2	2	20(5)